

<お知らせ> 新しい認証シリーズの開発を開始します

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会[英文名:Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community=略称ABINC(エイビंक)]では、一体となって整備される複数街区を対象とした新しい認証シリーズの検討に着手しました。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会・ABINC(エイビंक)は、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB[®])が開発した「いきもの共生事業所[®]推進ガイドライン」に基づいて評価する「いきもの共生事業所[®](通称:ABINC:エイビंक)認証制度」を運営しています。これまでの5年間で、生物多様性保全に取り組む工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅、戸建住宅団地、物流倉庫など、計67件の施設を「いきもの共生事業所[®]」として認証して参りました。

一方、事業者からは、まちづくりの観点からより広域かつ長期に渡る事業を対象とした認証への要望も寄せられており、現行制度ではカバーできないケースも出てきたことから、新たに統合的な視点に基づく認証シリーズの開発に着手したところです。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年は愛知目標の目標年であり、さらにその先のSDGsの達成への民間セクターによる貢献も視野に入れた新たな認証制度を通じ、我が国の生物多様性の主流化に向けた取り組みをより一層推進して参ります。

※ ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

※※ いきもの共生事業所[®]はJBIBの登録商標です。

【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生できるしほを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。

【団体概要】

■名称:一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名:Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community=略称ABINC(エイビंक)]

■設立:2013年12月25日 ■連絡先:info@abinc.or.jp ■ホームページ:<http://www.abinc.or.jp/>

■理事:中静 透 (東北大学大学院生命科学研究科教授)<代表理事>

亀山 章 (公益財団法人日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授)

森本 幸裕 (京都学園大学教授、京都大学名誉教授)

黒田 大三郎 (公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー)

足立 直樹 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ事務局長)

原口 真 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ顧問)

■監事:梶谷 修 (一般社団法人日本環境アセスメント協会会長)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 担当:安齊(アンサイ)/宇野澤(ウノサワ)

※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社

e-mail : info@abinc.or.jp TEL:070-6457-2261